

豚熱、高病原性鳥インフルエンザに注意してください！

県内では、依然、野生イノシシにおける豚熱の感染が確認されています。出雲管内では、奥出雲町で4月にも感染した野生死亡イノシシが確認されています。豚熱は伝染力が強いので、豚飼養者の皆さまに留まらず、関係者の方や周囲の方の不用意な立入りにも注意が必要です。また、鳥インフルエンザについても、幸い県内での発生は認められていませんが、全国的には野鳥の感染報告が後を絶ちません。家畜飼養者の方には、まだまだ予断を許さない状況にあります。どちらも一度発生してしまうと、周囲の飼養農場等への拡散が起こりやすく、また根絶には大変な被害が伴います。

各飼養者の皆さまには、引き続き徹底した飼養衛生管理（飼養衛生管理基準の遵守）を、また関係者等の皆さまには、衣服、靴、車両消毒の徹底をお願いいたします。



飼養衛生管理基準の遵守を徹底しましょう！

図：農林水産省

中国牧場さんが美味しまねゴールド認証を取得！

祝

令和6年3月15日に、農事組合法人中国牧場が美味しまねゴールド認証を取得されました。こちらの農場では、畜産物の安全性を向上させるために、農場に HACCP の考えを取り入れた農場飼養衛生管理をされています（農場 HACCP 認証農場）。このたび、これらの管理に加えて『持続可能な農業』のために必要な、**食品安全、労働安全、労務管理、環境保全の管理**に取り組み、農場管理をさらにステップアップすることにより、美味しまねゴールド認証（県の GAP 認証制度）を取得されました。これらの安全性の見える化は、今後さらに消費者の生産物購入の安心度と、また輸出なども視野に入れた販路拡大にも大きくつながってくると考えます。

中国牧場さんには、今後も美味しまねゴールド認証の取り組みに力を注いでいただき、家畜にとっても、農場スタッフさんにとっても快適な環境作りを維持していただきたいと思います。

このたびは、本当におめでとうございます。

皆さんも、これからのより良い農場管理へステップアップするため、中国牧場さんに続きませんか？
ぜひ、興味ある方はご連絡ください！



放牧検査を実施しています

公共放牧場や共同牧場（林間、転作田・耕作放棄地を含む）で放牧する牛に対して、放牧前後に血液検査や健康チェックを実施し、放牧場における伝染病の伝播防止や放牧事故の低減を図っています。

検査する項目：ピロプラズマ症・牛伝染性リンパ腫・牛ウイルス性下痢 など

放牧中は、毎日の観察と、ピロプラズマ原虫を媒介するダニの寄生予防などの衛生対策を行いましょう！！

検査を希望される場合は、放牧場の窓口（役場やJA等）にご連絡下さい。



編集後記：新年度を迎え、体制を新たに頑張っています。令和6年度に入り、5条検査（対象地域：雲南市（旧吉田村及び旧掛合町を除く）、出雲市（旧斐川町）も始まります。ご協力いただきますようお願いいたします。